



# 美しい 県土づくりNEWS

2023年

8月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第228号  
令和5年8月31日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 MSC ベリッシマ 宮古港に初寄港！
- 4 一般国道107号大石地区 トンネル掘削に本格着手し、安全祈願祭が開催されました！
- 6 「防災学習」を実施しました！
- 7 県内各地で景観学習を実施しています！
- 8 「森と湖に親しむ旬間」イベントを開催しました！
- 10 県営住宅を活用した移住定住の促進に向けた取組～いわてお試し居住体験事業～
- 12 下水道・浄化槽出前講座を開催しています！
- 14 岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等を紹介합니다！

# 三陸復興

## MSC ベリッシマ 宮古港に初寄港！



8月4日（金）に外国船社クルーズ船「MSCベリッシマ」が初めて宮古港に寄港しました。

MSCベリッシマは岩手県に寄港したクルーズ船の中でも過去最大の規模です。



# MSC ベリッシマ 宮古港に初寄港！

港湾空港課

ベリッシマは8月2日から11日まで日本と韓国の釜山をめぐるクルーズを行っており、8月4日の午前7時30分ころ、横断幕や大漁旗、着ぐるみ等のお出迎えのもと、宮古港藤原埠頭に入港しました。



8月4日（金）、スイスの運航会社「MSC クルーズ」が運航するクルーズ船「MSC ベリッシマ（全長約315 ㍎、高さ約60 ㍎、総トン数17万1,598ト、乗客定員5,686人）」が宮古港に寄港し、官民一体となり、歓迎しました。MSC ベリッシマはこれまでに岩手県に寄港したクルーズ船の中でも過去最大の規模です。

宮古市花輪中学校の生徒たちが「南川目さんさ踊り」、「花輪鹿子踊り」、「長沢剣舞」を披露して乗船客を歓迎しました。その後、ベリッシマの船舶内で歓迎セレモニーが行われ、入港の記念として入港記念盾と南部鉄器、地酒、大漁旗が船長に送られました。



歓迎セレモニーの様子



花輪中学校の生徒たちによる花輪鹿子踊り



花輪中学校の生徒たちによる南川目さんさ踊り



地元高校生に名前を書いてもらうベリッシマのクルー

藤原埠頭内では、ベリッシマ寄港の観覧に市民の方々が  
大勢訪れ、埠頭内では地元の特産品などの物販コーナー  
や、地元の高校生による外国人観光客の名前をひらがなで  
書いた短冊をプレゼントするコーナーなど、たくさんの人  
でにぎわっていました。

乗客の方々は、宮古市の道の駅「シートピアなあと」や  
浄土ヶ浜に加え、岩泉の龍泉洞や盛岡市のさんさ踊りなど  
岩手県の様々な観光地を満喫されました。

### 夢灯り

夜になっても藤原埠頭には多くの市民の方々が訪れ、  
出港イベントが行われました。イベントでは郷土  
芸能ステージをはじめ、灯籠でお見送りのメッセ  
ージを伴った『夢灯り』や、海上花火が打ち上げられ  
ました。

そして、午後10時30分頃、市民の方々に見送られ  
ながら青森港へ向け出港しました。



郷土芸能ステージ



多くの市民の方々がお見送り

今年度、宮古港へのクルーズ船の今後の寄港は3回が予定されています。  
県では、今後も港湾所在市や関係機関と連携し、お越しいただく皆様に三陸・岩手を満喫していただき、  
継続的な寄港につながるようお迎えしていきます。

# 一般国道107号大石地区災害復旧事業 トンネル掘削に本格着手し、安全祈願祭が開催されました！

県南広域振興局土木部北上土木センター

一般国道107号西和賀町大石地区は、令和3年5月に発生した地すべりにより通行止めになりましたが、応急工事を実施し、地すべり箇所を迂回する仮橋が令和4年11月末に開通したところです。応急工事と併行して準備を進めていたトンネル工事について、令和5年7月19日にトンネルの本格的な掘削に着手しました。



【西和賀側坑口】



【坑内の作業状況】

本格的なトンネル掘削を迎えるに当たり、同年8月23日に工事受注者主催による安全祈願祭が開催されました。



【鍬入之儀】

(左から小島県南局広域振興局長、内記西和賀町長、宮川安藤・間執行役員東北支店長)

安全祈願祭には、地元選出県議会議員、西和賀町、関係機関など約100名が出席し、鍬入(くわいれ)、玉串奉奠(たまぐしほうてん)等の神事を行った後、小島県南広域振興局長から「早期復旧に向けて全力で取り組む」と発注者挨拶をし、無事故・無災害での工事の完成を願いました。



【小島県南広域振興局長挨拶】

一般国道 107号大石地区の早期復旧に向けて安全第一で事業を推進し、地域に愛される道路となるよう令和8年度の事業完了に向けて鋭意取り組んでまいります。



災害復旧事業の概要

- ・事業費 約130億円
- ・トンネル工 約1,460m
- ・橋梁工 約70m
- ・応急仮工事1式 (押え盛土工、仮橋工、横ボーリング工)
- ・事業期間 令和8年度まで

# 「防災学習」を実施しました！

沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

令和5年8月8日（火）、宮古土木センターでは名城大学の学生（25名）を対象に、防災学習を実施しました。名城大学経営学部の田中武憲教授のゼミナールでは、平成28年度の台風第10号災害で最も被害の大きかった岩泉町に対し、平成29年度から継続した支援を行っています。

↓被災地支援の様子はこちらから

今回、東日本大震災津波による被災からの復興支援活動と併せ、防災学習とアニメ映画の「聖地巡礼」を掛け合わせた調査・フィールドワークが行われました。



防災学習では、東日本大震災津波による宮古地区の被災状況や宮古湾の復興事業、砂防堰堤について紹介しました。

## 1 防潮堤（赤前地先海岸）及び津軽石川水門の見学

学生たちは、東日本大震災津波による宮古地区の被災状況や宮古湾の復興事業について説明を受けました。

また、水門・陸閘自動閉鎖システムの紹介を受けた後、津軽石川水門にて実際の動作状況を見学しました。



見学状況写真

10mの津波と聞いても想像がなかったが、実際に防潮堤を見たことであの高さの壁を越えてくる津波に恐怖を感じた。

実際に水門の動作を見せていただけたのが貴重な体験だった。

## 2 高浜の沢（2）の砂防堰堤の見学

その後、土砂災害対策として施工中の高浜の沢（2）の砂防堰堤を見学し、土砂災害の種類や砂防堰堤の目的等について説明を受けました。



見学状況写真

ハード対策に頼るだけでなく、ソフト対策についても自分たちでしっかり考えていく必要があることを改めて感じた。

土石流の危険がある地域で住んでいくにはどのような対策、行動が重要なのかを学んだ。



☆ アニメ映画の「聖地巡礼」として「あの扉」も見学しました！

←「あの扉」見学の様子

# 県内各地で景観学習を実施しています！

都市計画課

都市計画課では、子どもたちが身近な景観を通じて地域の魅力や課題を発見する体験型学習「景観学習」を実施しています。

令和5年度は7市町8校で景観学習に取り組む予定であり、8月までに4校で実施しています（残り4校は10月までに実施予定）。そのうち4校は今年度が初めての実施であり、県内における景観学習の取組が広がっています。

## 景観学習とは？

景観学習は、県内の小・中学生を対象に、身近な景観から地域の歴史や文化を理解しながら地域の魅力を感じ取る機会を提供することにより、『①景観とは何かということについて理解を促し、②地域の景観をみんなの共有財産として大切にする意識を高め、③地域に対する誇りや愛着心を育み、景観づくりの担い手として自ら考え行動できる人材を育成する』ことを目的とした取組です。

## 景観学習の流れ(例)



### 1日目<ガイダンス・まち歩き>

- ・『景観』『まち歩き』について授業を実施。
- ・学校の外に出て、『好き』『嫌い』『気になる』などたくさんの景観を自由に撮影。  
(ひとり1台デジタルカメラを貸与)

### 2日目<景観シート・マップ作成>

- ・撮影した写真を印刷し、景観シートを作成。(①テーマ、②どう思ったか、③タイトルをまとめる。)
- ・選んだ景観の撮影位置を地図にプロットして、景観マップを完成させる。

※学校で使用しているタブレット端末を使用する学校もありました。(県事業では初の試み)

## 令和5年度の実施状況

令和5年度 岩手県景観学習実施校 (R5.8月末時点)			
	学校名	学年・人数	実施時期
①	久慈市立久慈湊小学校	3年生 28人	5・6月
2	紫波町立日詰小学校	5年生 55人	6月
③	二戸市立御返地小学校	3・4年生 11人	6・7月
4	陸前高田市立矢作小学校	5・6年生 5人	8月
⑤	奥州市立水沢小学校	3年生 93人	9月予定
6	一関市立巖美小学校	3年生 15人	9月予定
⑦	盛岡市立手代森小学校	3年生 22人	9・10月予定
8	一関市立室根小学校	3年生 25人	10月予定

○：初めて景観学習を実施する学校

【講師】いわてNPO-NET サポート 菊池 広人 事務局長

子どもたちからは、「自分の住んでいる地域には、素敵な場所がたくさんあることが分かった！」

「カメラで写真を撮るのが楽しかった！」などの声や、先生方からも「地域学習に適しているとてもいい取組みです！」という感想をいただいています！

景観学習の実施内容については、『景観学習のススメ』を参考にしてください！(岩手県 景観学習で検索！)

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/toshigesui/machizukuri/1010110/1010114.html>

# 「森と湖に親しむ旬間」イベントを開催しました！

## 河川課

今年も県内各地のダム周辺で『森と湖に親しむ旬間』（毎年7月21日から31日まで）の関連イベントが開催され、たくさんの家族連れや地域の方々にご参加いただき、大いに賑わいました。県土整備部所管の8ダムについて、その模様をお知らせします。

早池峰ダム（花巻市） 森と湖に親しむ「早池峰ダム」 開催日：令和5年7月26日（水）



ダム施設見学

参加者数は昨年よりも少ない結果となりましたが、そのかわり、一人一人への丁寧な説明、時間に余裕をもった見学、木工教室に時間をあてることができ「参加してよかった」という意見をいただきました。

<実施内容>

ダム・発電施設の公開、木工教室、林業パネル展示ほか

<参加人数>

7名

綱取ダム、築川ダム（盛岡市） 「森と湖・in 綱取」2023！ 開催日：令和5年7月28日（金）



（綱取）  
ダム施設見学

新型コロナの影響により4年ぶりの本格的な開催となり来場者数が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ、親子連れやご夫婦など多くの方が訪れました。「普段知ることができないダムのことを知れてよい経験となった（綱取）」、「夜見るダムは最高（築川）」などのコメントをいただきました。

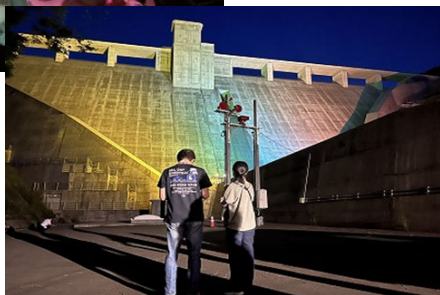
<実施内容>

森林浴・植物観察会、ダム施設見学、発電所PR、木工教室、築川ダムナイトツアーほか

<参加人数>

綱取 105名、築川 109名

（築川）  
ライトアップ



入畑ダム（北上市） 「遊・YOU・入畑・2023！」 開催日：令和5年7月29日（土）



SUP 体験

4年ぶりの開催となりましたが新型コロナ流行前よりも多くの方が訪れました。ダム堤体内の涼しさや放流、しらゆり工房による出店が好評でした。なお、湖面パトロールの体験を望む声を多くいただいたため、来年は実施する予定です。

<実施内容>

ダム施設・発電所・浄水場見学、SUP体験、木工教室、クラフト教室ほか

<参加人数>

289名



鷹生ダム（大船渡市） 五葉湖畔の集い「げんきです！水と緑の鷹生ダム」 開催日：令和5年7月23日（日）



グラウンドゴルフ大会

4年ぶりの開催となりましたが当日は天候にも恵まれ各イベントに多くの方が訪れました。グラウンドゴルフ大会には親子連れからお年寄りまで幅広い世代から100名以上が参加され大いに盛り上がりました。

<実施内容>

ダム施設見学、ボート展示、木工教室、森の工作館エコカーゴ展示、グラウンドゴルフ大会、消防車両展示ほか

<参加人数>

306名

遠野第二ダム（遠野市） 森と湖に親しむ「遠野第二ダム」の集い・2023 開催日：令和5年7月29日（土）



湖面パトロール体験

当日は、30度を超える気温の中、小学生とその保護者を中心に37名が訪れました。建設業協会遠野支部青年部のキャラクターも駆けつけ、子供たちに大人気でした。

<実施内容>

ダム施設見学、湖面パトロール体験、建設機械体験、木工教室ほか

<参加人数>

37名

日向ダム（釜石市） 「日向ダム湖畔の集い」 開催日：令和5年7月29日（土）



ニジマスつかみ取り

釜石市の最高気温が33度と猛暑の中、親子連れを中心に、多くの方々が訪れました。毎年人気のダム施設公開や木工教室、ダム施設見学後の魚のつかみ取りが好評でした。

<実施内容>

ダム施設公開、魚のつかみ取り、木工教室ほか

<参加人数>

106名

滝ダム（久慈市） 久慈・長内川の「滝ダム学習」と「川まつり」 開催日：令和5年8月3日（木）、6日（日）



カヌー・カヤック体験

当日は久慈で観測史上最高となる36.4度という気温の中、川まつりには約800名の参加がありました。

ダム施設見学にも16名の方が参加し、外気温と堤体内の気温差を体感していただきました。

<実施内容>

ダム施設・発電所見学、カヌー・カヤック体験、ダムライトアップ、魚のつかみ取りほか

<参加人数>

ダム施設・発電所見学：16名、川まつり：約800名

## 県営住宅を活用した移住定住の促進に向けた取組

### ～いわてお試し居住体験事業～

建築住宅課

県では、**県外からの移住定住**の促進に向けた取組を全庁的に実施しています。県土整備部においても、県営住宅を活用した取組を令和4年度から実施しています。今年度は、子育て世代に特化した募集枠を10戸新設し、計40戸募集しています。

#### 【事業概要】

### いわてお試し居住体験事業（2年目）

#### 【事業の内容】

家電等を整備した県営住宅を低廉な家賃（月額10,000円）で貸し出すことにより、岩手県への移住定住に係る心理的・経済的な負担を軽減し、本県への移住定住の促進を図る。

【入居要件】	【事業イメージ】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○募集団地 県内全域(県内13市町28団地)</li> <li>○募集戸数 40戸</li> <li>○入居対象者 県外からの移住定住希望者</li> <li>○家賃相当額 月額:10,000円 駐車場・共益費等別途</li> <li>○入居条件 SNSで岩手県の魅力等を発信すること。</li> <li>○入居期間                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯(18歳以下の子どもを子育て中・又はこれから子どもを産み育てる予定のある18歳～39歳までの世帯) 最長6年間</li> <li>・一般世帯(18歳～59歳までの世帯)最長1年間</li> </ul> </li> </ul>	<p>■ 制度イメージ</p> <p>■ 期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外からの移住定住促進</li> <li>・県営住宅ストックの有効活用</li> </ul>

#### 【いわてお試し居住体験事業利用者の声】

#### お試し居住体験事業のおかげで、移住のハードルが下がりました

大船渡は、妻の祖母の家があることがきっかけで移住しました。子育てや、生活する環境は、自然豊かな場所だと思っていたところ、大船渡にご縁がありました。

移住を検討しているときに、想定よりも家賃が高く、住居に関して悩んでいました。そんなときにお試し移住を知り、移住へのハードルが下がりました。岩手県内での生活は、知り合った方々からいろいろな物を頂けて、食が豊かな環境に驚いています。海なし県で生活をしていたので、海の幸が手軽に手に入り、食生活が楽しいです。また、通勤時に渋滞がないことや、人混みがないことでストレスが軽減されています。

岩手県の魅力は、食の豊かさ、大自然を一人占めできることが多いことなどです。移住者に対して寛容な人が多く、移住したことを喜んでくれます。自然や食が好きな方にはおすすめの地域だと思います。

このまま岩手県内で生活することを予定しているため、今後は、中古住宅の購入を検討しています。

### いわてにリターン 大人になって、いわての新しい魅力を発見中

盛岡市出身で大学進学と同時に岩手を出て、そのまま都内の企業に勤めていました。そんな中、新型コロナウイルスの感染拡大や自分のライフステージの変化に伴い、岩手で暮らすのかもしれないと考え始めました。

住宅自体がとても綺麗で、かつ遠方からの引越しで家具家電を持ってこなかったため、家具家電付きだったのもとてもよかったです。1年という期間は物足りず、家賃が上がってでもこの住宅に住みたいくらいです。デメリットとしては、駐車場が1台分しか使えず、付近の駐車場を探す必要があることです。この場所に詳しいわけではないので駐車場を探すのに苦労しました。

岩手は地元なのですが、高校生までで見ていた景色だけでなく、大人になってから見てくる良さをたくさん感じています。車の運転やお酒など、岩手で楽しめることが増えました。

食べ物も美味しく、四季も楽しみ、人も温かい県だと思っています。岩手ならではの文化や伝統も多いのも魅力です。また、新幹線で東京にもすぐ行けるというのもメリットだと感じています。空気や水も美味しく、空が広く見えるのがとても嬉しいです。

現在、お試し移住をして半年ほどになるので、町内で物件を探し始めようとしているところです。移住してきて半年で少しずつ町の様子もわかってきて、どの地域に住みたいかも見えてきたので、いい物件を探して岩手での暮らしを楽しみたいと思います。

### お試し居住体験事業期間中に自分たちにあった家を見つけることができました

妻の妊娠をきっかけに、妻の実家がある奥州市への引越しを決めました。妻のお母さんからいわてお試し居住体験事業のことを教えて頂き、自分達にぴったりだと思い、応募しました。

引っ越し費用が色々かかる中で、家に関する費用を抑えられ、また、家電の貸し出しもあったので、スムーズに生活をスタートさせることができました。

他の街との距離感や雪は実際にどれくらい降るのか、夏はどれくらい暑いのか、四季の景色の変化など、住んでみないと分からないことばかりでしたので、お試し居住はとても良いと思いました。

街中は色々とお店があるので、生活面で不便さを感じることはありませんでした。少し行くと気軽に自然を感じることができました。大きくて綺麗な公園もたくさんあるので、伸び伸びと過ごすことができます。引っ越してきた時期にはたくさんの渡り鳥が空を飛んでいたり、田んぼに集まっていたのが印象的でした。

現在は県営住宅から賃貸物件に引っ越しました。お試し居住体験を利用させて頂き、時間をかけて物件を探ることができたので、自分達に合った物件を見つけられました。

**【お問い合わせ先】** 岩手県県土整備部建築住宅課（〒020-8570 盛岡市内丸10-1・019-629-5931）

# 下水道・浄化槽出前講座を開催しています！

下水環境課

下水環境課では、環境教育活動への支援の一環として、下水道や浄化槽の汚水処理施設の普及啓発活動を実施しており、学校や団体を対象に平成20年度から公益財団法人岩手県下水道公社と連携して「下水道出前講座」、平成21年度から公益社団法人岩手県浄化槽協会と連携して「浄化槽出前講座」を開催しています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、オンライン形式のみでの開催でしたが、**今年度は対面での実施を再開**しています。

今年度は**8月25日現在、盛岡市立松園小学校など13校299名の児童を対象に講座を実施**しました。

## ＜花巻市立笹間第一小学校での出前講座の様子＞



下水道・浄化槽の役割を説明



浄化槽の模型を解説



顕微鏡で微生物の観察



下水道や浄化槽で汚水をきれいに行している微生物を顕微鏡で観察しました。児童たちは、実際に動いている微生物に興味深々で見っていました。「汚水をきれいにする微生物は何種類くらいいるのか」などの質問や、「微生物は汚いというイメージがすごいというイメージに変わった」などの感想を沢山いただきました。

<8月25日時点での開催状況>

	実施日	小学校	人数
1	6月5日	岩泉町立岩泉小学校	31人
2	6月6日	盛岡市立松園小学校	30人
3	6月20日	盛岡市立北厨川小学校	40人
4	6月29日	盛岡市立手代森小学校	23人
5	6月29日	陸前高田市立竹駒小学校	7人
6	7月5日	陸前高田市立小友小学校	13人
7	7月6日	盛岡市立月が丘小学校	47人
8	7月10日	一関市立黄海小学校	16人
9	7月11日	一関市立大原小学校	14人
10	7月11日	一関市立室根小学校	25人
11	7月18日	花巻市立八重畑小学校	18人
12	8月24日	一関市立興田小学校	14人
13	8月24日	花巻市立笹間第一小学校	21人

○オンライン方式での下水道出前講座も対応可能です！



汚水処理のしくみなどについて、下水処理場内や微生物の様子を動画で説明し、児童にクイズを出しながら講座を行います。

今後も、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止していくために、「水の循環と汚水処理の大切さ」を子供たちに伝え、汚水処理施設の普及や汚水処理人口普及率の向上に取り組んでいきます。

下水道・浄化槽出前講座 申込先

下水環境課 下水管理担当 TEL019-629-5896 FAX019-629-9130

## 『特集ページ』

# 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等を紹介します！

令和5年度の県土づくりNEWSでは、岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等」を9回に分けて御紹介します。

	<b>実施状況・事例等</b>	
<b>防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策</b>		
概要 p.3 岩手県の取組 p.3 予算の配分 p.4		
p.5	<b>1 効果事例</b>	河川 p.7 砂防 p.15 道路 p.20 港湾 p.31
p.33	<b>2 現在実施中</b>	河川 p.34 砂防 p.37 道路 p.39
p.45	<b>3 今後実施予定</b>	河川 p.47 砂防 p.52 道路 p.55 港湾 p.66
p.68	<b>4 現場の取組</b>	

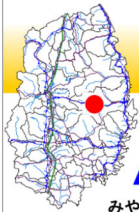
### ■特集ページのスケジュール

掲載予定	対策の状況	分野	内容等
R5.7月号	効果事例	河川、砂防	堤防等の整備、河川の堆積土砂撤去、砂防堰堤の整備、急傾斜地の崩壊対策
R5.8月号		道路、港湾	道路の斜面对策、舗装の補修、橋りょうの老朽化対策、岸壁の老朽化対策
R5.9月号	現在実施中	河川	堤防等の整備、内水対策、洪水浸水想定区域図の公表
R5.10月号		砂防	砂防堰堤の整備、土砂災害が発生するおそれのある箇所への対応
R5.11月号		道路	道路の斜面对策、橋りょうの老朽化対策、道路の整備
R5.12月号	今後実施	河川、砂防	河川整備における今後の取組の背景、河川の堆積土砂撤去、ダム設備の補修、砂防堰堤の整備・老朽化対策
R6.1月号		道路	道路整備における今後の取組の背景、道路の整備、無電柱化の推進、橋りょう等の老朽化対策
R6.2月号		港湾	臨港道路・物揚場の補修
R6.3月号	現場の取組	全般	建設DX、工事現場見学会・出前講座の開催

### ■今月（令和5年8月号）の特集

今月は5か年加速化対策の「**効果事例（道路、港湾）**」を御紹介します！

『特集ページ』 ～効果事例（道路、港湾）～



5 年加速化対策 効果事例



岩手県 Iwate Prefecture

28

道路 スノーシェルターの老朽化対策

宮古市 柏木スノーシェルター（一般国道106号）

対策前



対策後



令和5年1月完了

対策の  
効果

腐食が進んでいた鋼製のスノーシェルターを、  
いったん全部撤去し、新しいものに更新しました。



5 年加速化対策 効果事例



岩手県 Iwate Prefecture

30

道路 橋りょうの老朽化対策（その2）

奥州市 小谷木橋（一般国道397号）

対策前



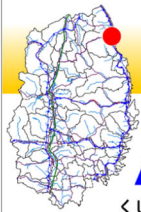
対策後



対策の  
効果

- ・ 架橋後60年以上経過し老朽化した小谷木橋を架け替えました。
- ・ 旧橋は大型車のすれ違いが難しかったため、新橋は幅を広げました。

『特集ページ』 ～効果事例（道路、港湾）～



5か年加速化対策 効果事例



岩手県 Iwate Prefecture

31

港湾 岸壁の老朽化対策（その1）

くじし くじこう すわした  
➤ 久慈市 久慈港（諏訪下地区）

対策前

昭和40年代完成  
（50年以上経過）

対策後

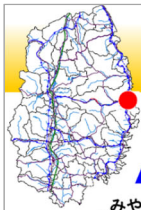
【鉄筋の露出・コンクリートの剥離】

※ 岸壁の下側  
から撮影

令和5年3月完了

対策の  
効果

老朽化が進行していた岸壁を補修したことで、船舶が安全に係留できるようになりました。



5か年加速化対策 効果事例



岩手県 Iwate Prefecture

32

港湾 岸壁の老朽化対策（その2）

みやこし みやここう くわがさき  
➤ 宮古市 宮古港（鋤ヶ崎地区）

対策前

対策後

【防舷材の破損】

令和5年3月完了

対策の  
効果

破損していた防舷材※を更新したことで、船舶が安全に係留できるようになりました。  
（※防舷材は船舶と岸壁の間のクッション材）